

2020年3月24日

各位

株式会社リボミック  
(コード番号：4591 東証マザーズ)

## 米国 RBM-007 第Ⅱ相臨床試験について

このたび、新型コロナウイルスの流行を受け、当社が米国で進めているRBM-007第Ⅱ相臨床試験（対象疾患：滲出型加齢黄斑変性）につき、患者スクリーニング及び新規被験者への投与を一時的に停止することを決定し、治験実施施設に対して米国現地時間3月20日付で通知いたしましたのでお知らせいたします。この決定は、本治験に参加する高齢の被験者、医師、実施施設スタッフの安全性を最優先に、本パンデミック下での治験薬配送網の混乱、3月18日付でFDAから発出された臨床試験実施に関するガイダンス等を総合的に判断して行ったものです。

現在までの治験の実施状況については、1例目の被験者への投与が現地時間2月17日に開始され、3月19日に9例目の被験者への初回投与が行われたところです。これらの被験者に関しては、治験責任医師が被験者の安全性を確保できると判断した場合のみ、当初の治験実施計画書通りに試験を継続いたします。

当社は米国内の状況に細心の注意を払い、患者登録の再開時期を見極めるとともに、パンデミックの本治験への影響を最小限にとどめるよう努めてまいります。なお、治験開始から現在までの患者登録スピードに鑑みて、現時点において治験の終了目標時期は当初の予定通り2021年末までとし、変更はありません。

なお、本件による、2020年3月期業績予想の修正はありません。

以上

### RBM-007について

線維芽細胞増殖因子2（FGF2）の機能を阻害するアプタマーで、加齢黄斑変性における血管新生と癒痕形成を同時に抑制する新規な薬理作用を有することが非臨床試験で示されています。現在、米国において、第Ⅱ相臨床試験が行われております（<https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT04200248>）。

【本件に関するお問い合わせ先：経営企画部 03-3440-3745】

本リリースに記載されている医療用医薬品(開発品を含む)の情報は、当該製品を宣伝・広告するものではなく、投資家への情報開示を目的とするものであり、その製品化を保証するものではありません。